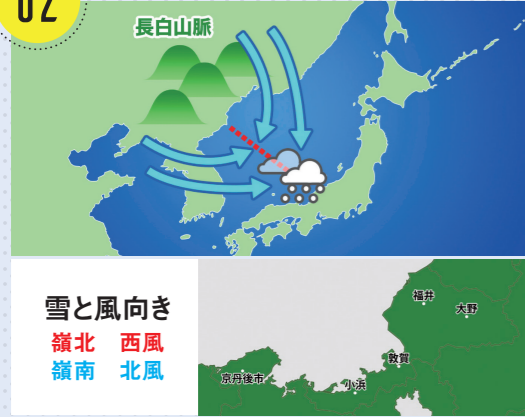


POINT
02

JPCZ(日本海寒帯気団収束帯)のメカニズム



JPCZの発生とともに、降雪のサインとなるのが風向き。福井の場合、西風が吹くときは、嶺北には日本海からダイレクトに雪雲が入ってきます。一方、北風の場合は嶺南に日本海からダイレクトに雪雲が入ってくるので大雪が降ります。



降雪は減少しているが、どっと降ることも。

次に、「温暖化なのになぜ大雪になるのか」をお話したいと思います。その理由は温暖化によって海水温が高くなることにあります。雪雲のもととなる水蒸気がどんどん上空に上がることで、大雪を降らせるのです。福井の年最深積雪(年間で最も多かった積雪量)は減少傾向が続いているのですが、大規模な立ち往生が発生した2018年の豪雪のように、降るときはどっと降る傾向にあります。大雪のときに発生するのが「日本海寒帯気団収束帯(JPCZ)」です。これは、強い寒気を伴った北風が朝鮮半島にある3000メートル級の高い山々にぶつかることによって、山を越えられずに二手に分かれ、その分かれた風が日本海で再びぶつかって雪雲が発達するというもの。ピンポイントでの予測は難しいのですが、JPCZの発生が予測されるときは、かなり危険な状況です。

環境エネルギー講演

& オーケストラ・アンサンブル金沢弦楽四重奏

福井県環境・エネルギー懇話会は毎年、エネルギーや環境問題を考える講演&コンサートを開催しています。今回は、FBCテレビ「おじゃまっテレ ワイド&ニュース」の天気コーナーに出演している河波貴大さんが登壇。大雨・大雪や暑さと地球温暖化の関係、その対策について教えてくださいました。本誌は、2025年3月2日(日)に開催された講演をダイジェストで紹介します。



危険な暑さに、どう適応していくか。

福井県内では40℃を超えたことはありませんが、ここ10年、三国、小浜、春江の3地点では39℃以上を観測しており、極端な高い気温が頻発している状況です。最高気温が35℃以上となる猛暑日も、1890年代は年間平均2.2日でしたが、去年までの直近10年間では年間15日と急増しています。2021年から発表されている「熱中症警戒アラート」は、特に極端な暑さだった一昨年、福井で28回も発表されました。こうした危険な暑さをもたらすといわれる温暖化への対応策は二つあります。一つ目は「緩和策」であり、温暖化の原因となる温室効果ガス(二酸化炭素)の排出を減らしていくことです。もう一つが、気候変動による悪影響に備え、われわれの方が適応していく「適応策」です。福井の美味しいお米「いちほまれ」も、暑さに強い品種という適応策を備えて誕生しました。スポーツやテーマパークでも、真夏の昼時間の開催を避ける適応策をとっています。こうした動きが今後、どんどん広がっていくのではないかと思います。

POINT
03

週間予報はいつ見るか

おすすめはお昼11時を過ぎてから

気象庁の場合

きょうあすの天気

5時・11時・17時 新しい予報を発表

週間予報

11時・17時 新しい予報を発表

最後に、週間天気予報を見るタイミングについて。おすすめは午前11時。週間予報は午前11時と午後5時の2回発表されますが、大きく予報が変わるタイミングが11時であり、最新の情報にたどり着けます。

第1部

福井県の大雨・大雪と地球温暖化

講師

気象予報士 河波 貴大氏
(FBCテレビ天気コーナー出演中)

勝山市生まれ。学生時代に福井豪雨を経験。災害ボランティアを経験し、気象予報士を志す。bayfm(千葉県)やエフエム富士(山梨県)でラジオのお天気コーナーを担当。東京ディズニーランド、ディズニーシーが大好きで、ミッキーのように人を元気にする情報提供を目指している。現在、FBCテレビ「おじゃまっテレ ワイド&ニュース」の天気コーナーに出演中。

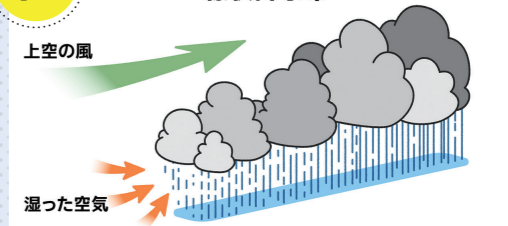


増え続ける大雨。キーワードは「線状降水帯」。

「滝のように降る雨」「車の運転が危険な雨」と表現される、1時間に50ミリ以上降る雨が1980年ごろと比べて1.5倍に増加しています。その要因の一つが温暖化であり、気温の上昇とともに雨雲のもととなるたくさん水蒸気が発生することで、大雨につながるといわれています。毎年のように全国どこかで豪雨災害が起こっており、福井では2022年8月に記録的な大雨が降り、南越前町今庄地区では鹿蒜(かひる)川が氾濫する大きな被害が出ました。その大雨の際、勝山・大野辺りには「線状降水帯」が発生しました。線状降水帯は幅20~50キロと非常に狭い範囲で被害をもたらすのが特徴です。2024年から気象庁は、線状降水帯の発生予測を都道府県単位で発表しています。その的中確率は10%以下ですが、予測が発表されたときは必ずといっていいほど大雨災害が発生します。気象庁の「キキクル」のサイトなどを活用し、適切な避難を心がけていただきたいと思います。

POINT
01

線状降水帯



警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	取るべき行動	避難の情報	キキクル	雨と河川の情報
5	命を守るために安全確保	緊急安全確保	災害切迫	大雨特別警報 氾濫発生情報
↓警戒レベル4までに必ず避難!				
4	危険な場所から全員避難	避難指示	危険	土砂災害警戒情報 氾濫警戒情報
3	避難に時間を要する人は避難	高齢者等避難	警戒	大雨警戒 氾濫警戒情報
2	避難行動を確認 ハザードマップを改めて確認		注意	氾濫注意情報 洪水注意情報

次々とできた雨雲が列をなし、狭いエリアで大雨が降り続く「線状降水帯」。そんな危険が迫っていることを「キキクル」などで把握し、警戒レベル4までに避難行動を完了させましょう。

第2部

オーケストラ・アンサンブル金沢 弦楽四重奏

幅広い演奏活動を通して高い評価を得ている、オーケストラ・アンサンブル金沢による弦楽四重奏の演奏会が行われました。



曲目

ベートーヴェン	弦楽四重奏曲 第3番 作品18-3より 第1楽章
ラヴェル	弦楽四重奏曲より 第2楽章
ベートーヴェン	弦楽四重奏曲 第16番 作品135

